

## [本体部]

## [アンプ部]

実用最大出力.....25W+25W (EIAJ 6Ω)  
 周波数特性  
 AUX .....20 Hz~20 kHz (+0 dB、-3 dB)

## [チューナー部]

FMチューナー部  
 受信周波数範囲 .....76MHz~108MHz

## AMチューナー部

受信周波数範囲 .....531kHz~1,629kHz

## [CDプレーヤー部]

読み取り方式.....非接触光学式読み取り  
 (半導体レーザー)

D/Aコンバーター .....1 Bit  
 サンプリング周波数 .....8 fs (44.1 kHz)  
 周波数特性 (EIAJ) .....20 Hz~20 kHz  
 ワウ・フラッター (EIAJ)

.....測定限界以下

## [カセットデッキ部]

トラック方式 .....4トラック2チャンネルステレオ  
 録音方式 .....交流バイアス(周波数:105kHz)  
 ヘッド

録音/再生ヘッド .....1  
 消去用 .....1  
 モーター .....DCモーター ×1  
 ワウ・フラッター .....0.2% (W.R.M.S.)  
 早巻き時間 .....約100秒 (C-60)

## [電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 .....AC100V, 50Hz/60Hz  
 定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示) .....60W  
 最大外形寸法 .....幅 200mm

高さ 245mm  
 奥行 300mm

質量(重量) .....4.9kg(正味)

## [スピーカー部]

エンクロージャー .....ブックシェルフ型  
 スピーカー構成

ウーファー .....100mm コーン型  
 ツィーター .....35mm ドーム型  
 インピーダンス .....6Ω

最大入力 .....30W  
 最大外形寸法

幅 .....140mm  
 高さ .....245mm  
 奥行 .....225mm  
 質量(重量) .....2.3kg(1本)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い  
 予告なく変更することがあります。

●極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な  
 性能が発揮できないことがあります。

# Avino

マイクロ ハイファイ コンポーネントシステム

## SE-5X

### 取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
 ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、  
 説明の通り正しくお使いください。  
 また、取扱説明書は大切に保管して、必要になっ  
 たときに繰り返しお読みください。  
 本機は日本国内専用モデルですので、外国で使  
 用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
 KENWOOD CORPORATION



# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

●商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
 お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9(ケンウッド青葉台第二ビル)  
 (大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、  
 最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

COMPACT  
 disc  
 DIGITAL AUDIO  
 TEXT

# KENWOOD

B60-4005-00 01 ©(H)(J) (MC) 9806

# 本機の特長

## CDプレーヤーとオートリバースカセットデッキを標準装備

CDプレーヤーとカセットデッキを搭載。  
さまざまな音楽ソースを楽しめる一体型マイクロステレオです。

## 便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能。

- ワンタッチ録音 : キーを押すだけでCD1枚または1曲を録音
- プログラム録音 : 好きな曲を好きな順に録音

## 便利なタイマー機能

2系統のプログラムタイマー:

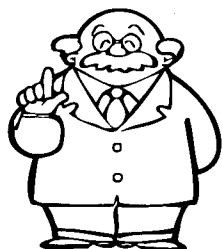
- タイマー再生、タイマー録音、AIタイマー再生の設定ができます。
- AIタイマー: タイマーオンの後、徐々に音量が大きくなります。

O.T.T. (Operate easy To use Timer):

- 簡単に設定できて、1回限り働くタイマーです。
- スリープタイマー: おやすみのときに利用します。

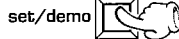
## 自動放送局名表示機能

都道府県名を登録しておく、FM放送を受信しているときに、表示部にその放送局名が表示されます。



## デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能(表示のみ)があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。



デモ オフ (デモンストレーション解除):

"DEMO ON"中に"set/demo"キーを押す

デモ オン (実行):

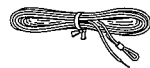
電源がオンの時に"set/demo"キーを押す(2秒以上)

●"DEMO ON"でチューナーの時、電波が弱いと"mute"がかかり音ができません。

●電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に"DEMO ON"になります。

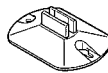
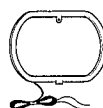
## 付属品

- FM 室内アンテナ(1本)
- スピーカーコード(2本)



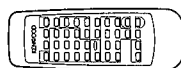
AM ループアンテナ (1個)

AMループアンテナ スタンド(1個)



リモートコントロール ユニット(1個)

リモコン用乾電池 (R6/SUM-3) (2本)



## 安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください) ..... 4

## 準備編

音を出す前に

△接続のしかた ..... 8

△システムと付属品の接続 ..... 8

△他の機器(市販品)との接続 ..... 10

各部のなまえと働き ..... 11

表示部 ..... 11

本体部 ..... 12

リモコン部 ..... 14

リモコンの使いかた ..... 15

## 基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

音を出してみましょう ..... 16

基本的な使いかた ..... 16

CDを聴く ..... 18

CD-TEXT機能について ..... 19

テープを聴く ..... 20

放送を聴く ..... 22

録音してみましょう ..... 26

テープに録音する ..... 26

## 応用編

楽しさが広がります

CDを聴く ..... 28

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) ..... 28

繰り返し聴く(リピート再生) ..... 29

ランダム再生を楽しむ ..... 30

便利な録音あれこれ ..... 32

録音のタイプを選ぶ ..... 32

ワンタッチ録音(CD→TAPE) ..... 33

プログラム録音(CD→TAPE) ..... 34

音質の調整 ..... 35

音質の調整 ..... 35

バランスの調整 ..... 35

AUXインプットレベルの調整 ..... 36

時刻合わせ ..... 37

タイマーを使う ..... 38

O.T.T.を設定する ..... 38

プログラムタイマーを設定する ..... 39

O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除 ..... 41

おやすみタイマー(SLEEP) ..... 41

## 知識編

知っているとかと便利です

知っておきましょう ..... 42

メンテナンス ..... 42

参考 ..... 42

ディスクの取り扱い方 ..... 43

カセットテープについてのご注意 ..... 43

故障かな?と思ったら... ..... 44

保証とアフターサービス(必ずお読みください) ..... 47

△定格 ..... 48



安全上のご注意には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用前に、必ずお読みください。

△ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

SE-5X (J)

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。


お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

SE-5X (J)

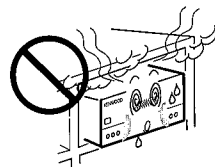
## 指定以外の電圧では使用しない

 この機器は、交流100ボルト専用です。交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。  
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》


## 放熱に注意

 設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。  
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》




## 風呂、シャワー室では使用しない

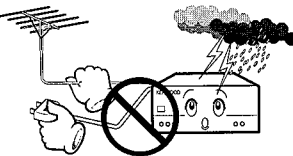
 風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》




## 雷が鳴り始めたら

 アンテナ線や電源プラグに触れないでください。  
《感電の危険があります》

接触禁止




## 乾電池は充電しない

 乾電池は充電しないでください。  
《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



## 異常が起きた場合は

 煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。  
《火災や感電の危険があります》




電源プラグをコンセントから抜く

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



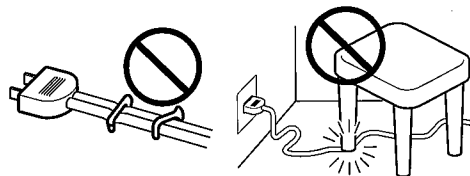
## 電源コードの取扱い

 電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



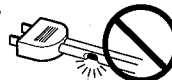
電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。  
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》

- 修理をご依頼ください。

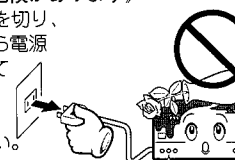


機器の内部に水を入れない  
花瓶やコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入った場合、機器の使用を中止してください。  
《火災や感電の危険があります》



電源プラグをコンセントから抜く

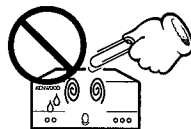
- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



**機器の内部に異物を入れない**  
 内部に異物が入った場合、機器の使用を中止してください。  
**《火災や感電の危険があります》**



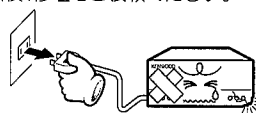
電源プラグをコンセントから抜く



**落下した機器は使わない**  
 落としたり、カバーやケースがこわれた機器を使用しないでください。  
**《火災や感電の危険があります》**



電源プラグをコンセントから抜く



**電池を放置しない**  
 電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。  
**《電池を飲み込むおそれがあります》**



●万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

**ケースを絶対に開けないでください**  
 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。  
**《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》**

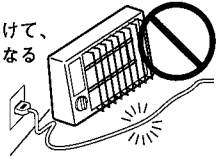


分解禁止

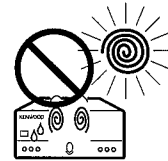


# 注意

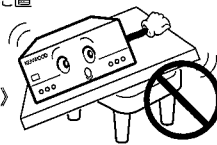
**電源コードを熱器具に近付けない**  
 電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。  
**《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》**



**温度の高い場所には置かない**  
 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。  
**《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》**



**不安定な場所には置かない**  
 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
**《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》**



**長期間使用しないときは**  
 長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
**《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》**



電源プラグをコンセントから抜く

**湿気やほこりのある場所に置かない**  
 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。  
**《火災や感電の原因になることがあります》**

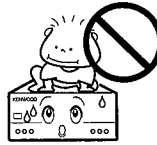


**音量に気をつけて**  
 はじめに、音量（ボリューム）を最小にしてください。  
**《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》**



ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。  
**《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》**

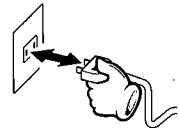
**機器に乗らない**  
 お子様は機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。  
**《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》**



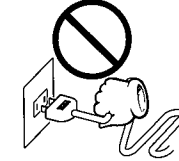
**電源プラグの抜き差しは**  
 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
**《感電の原因になることがあります》**



ぬれ手禁止



**指をはさまない**  
 お子様はカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。  
**《けがの原因になることがあります》**



**指定以外のコードを使わない**  
 関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。  
**《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》**



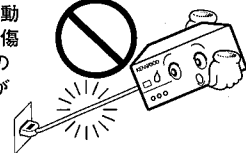
●指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



**機器を移動させる際は**  
 移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード（アンテナ線や機器間の接続コードなど）を、はずしてください。  
**《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》**



電源プラグをコンセントから抜く



**電池の取扱い**  
 電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。  
 また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。  
 次のことを、必ず守ってください。



●極性表示（プラス "+" とマイナス "-" の向き）に注意し、表示通りに入れてください。



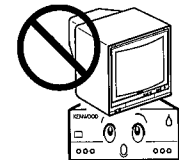
●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。



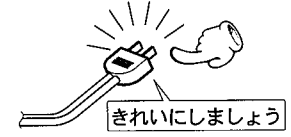
●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



**指定機器以外のものを乗せない**  
 機器の上に指定機器以外の物を乗せないでください。  
**《乗せた物の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》**



**電源プラグは清潔に**  
 1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。  
**《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》**



きれいにしましょう

**お手入れの際は**  
 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
**《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》**



電源プラグをコンセントから抜く

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。  
**《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》**

# システムと付属品の接続

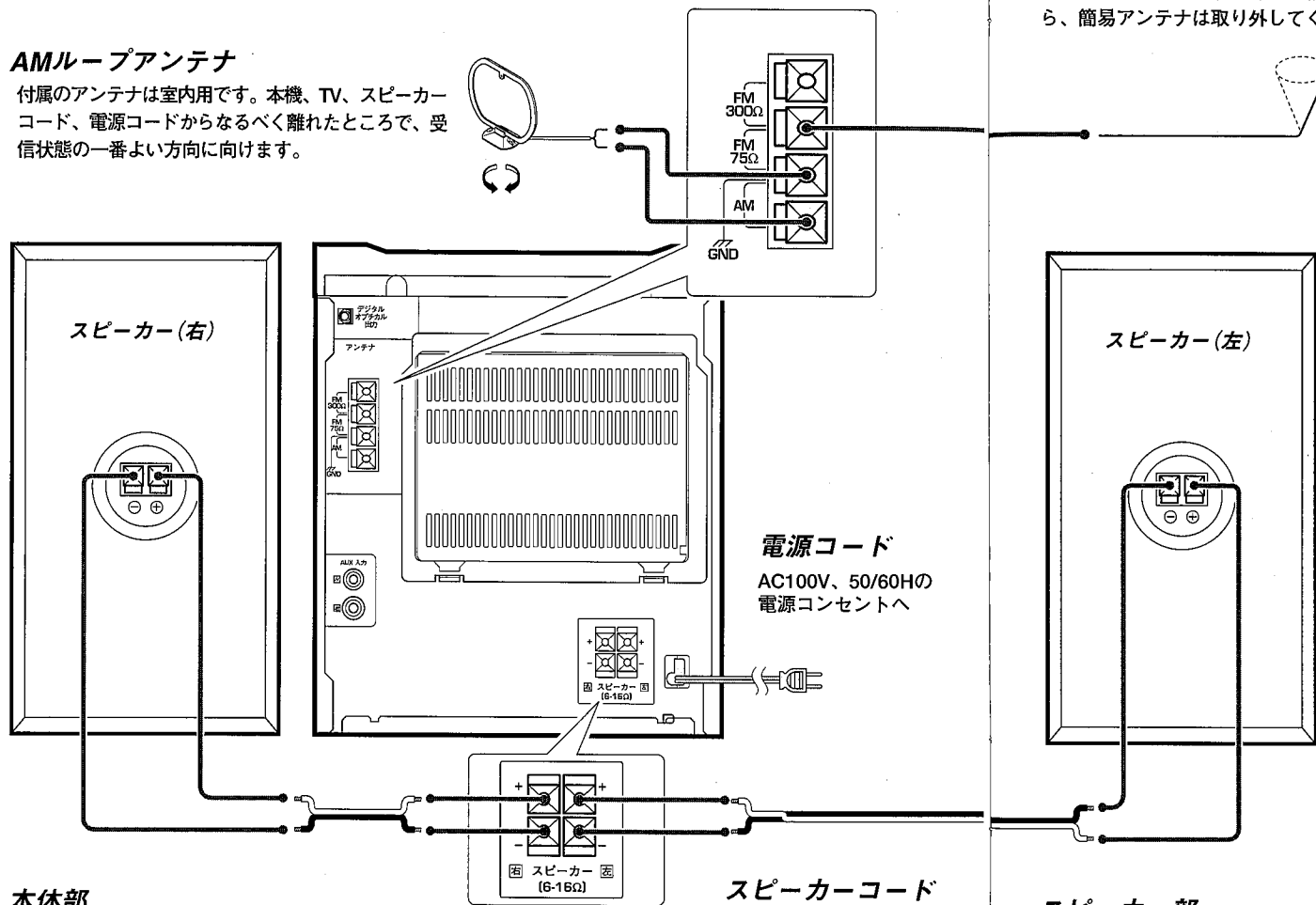
本機と、付属品の接続方法です。

## 注意 接続のご注意

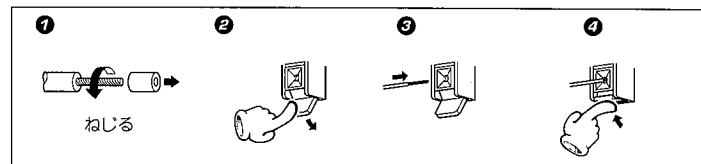
機器の接続は、図のように行なってください。接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

## AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

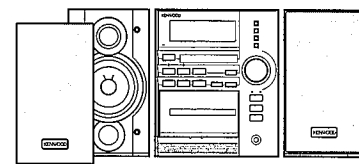
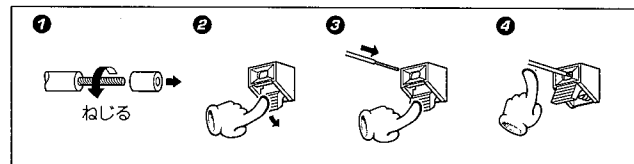


### 本体部



### スピーカーコード

### スピーカー部



## マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな?と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。

→[44]

## FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。



- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② アンテナ端子に接続する。
- ③ 受信状態のよい位置をさがす。
- ④ 固定する。

## スピーカーの設置とテレビについて

1. このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。



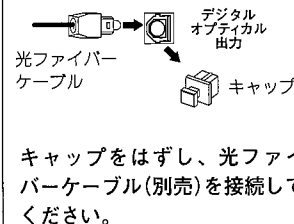
1. スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
2. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。
3. すべての接続コードは確実に差し込んでください差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
4. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

### 他の機器(市販品)との接続

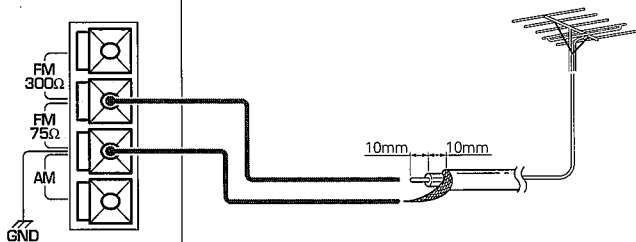
#### 注意 接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

#### デジタルオプチカル出力端子



#### アンテナ



#### FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

#### 注意

**屋外アンテナ設置上のご注意**  
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

#### 電源コード

AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ



1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. デジタルオプチカル出力端子は真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
3. 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
4. 光ファイバーケーブルは、絶対に折り返したり、束ねたりしないでください。

光ファイバーケーブル

MDレコーダー、DATなど

オーディオコード

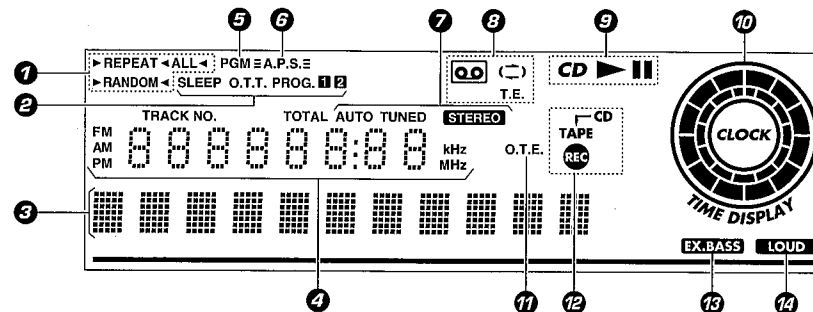
音声出力

ビデオデッキまたは、RIAAイコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー/P-110(別売)など

## 各部のなまえと働き

### 表示部

本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。



- ① CD関連表示
- ② タイマー関連表示
- ③ 文字情報表示部 (ドット表示部)  
入力切換、音量レベル、ディスク/トラックタイトル、など色々な文字情報を表示します。
- ④ 文字情報表示部  
周波数表示、時間表示、トラックNo、プログラムNo、などを表示します。
- ⑤ PGM(プログラム)表示
- ⑥ オートパワーセーブ表示
- ⑦ チューナー関連表示部
- ⑧ カセットデッキ、リバーモード、テープイコライザー表示

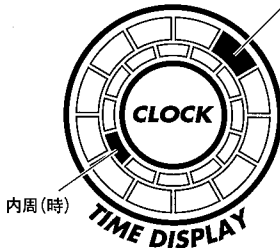
- ⑨ CD再生/一時停止表示  
CDの再生、一時停止の状態を表示します。
- ⑩ CLOCK表示部  
時刻表示や、ボリューム調整時とバランス調整時等の表示を行います。
- ⑪ O.T.E. (One Touch Edit)表示部  
ワンタッチ録音をするときに表示されます。
- ⑫ TAPE REC表示部
- ⑬ EX.BASS表示部
- ⑭ LOUD表示部

#### CLOCK表示部について

CLOCK表示部は時刻の表示、ボリュームレベル調整やバランス調整時の表示として機能します。外周部分と内周部分が時刻に合わせて点灯してゆきます。ボリュームレベル調整やバランス調整時には、"VOLUME/multi control (up/down)"の調整量に合わせて、表示部の外周部分が変化します。

時刻表示例：8時7分

外周(分)  
(5分単位で表示)

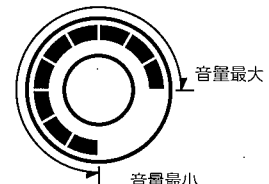


内周(時)

スタンバイ状態の時に停止(■)キーを押すと、5秒間時刻を表示します。

#### ボリュームレベル調整時

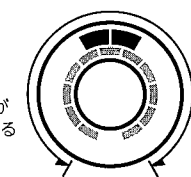
ボリュームレベルはCLOCK表示部の外周部で表示します。



#### バランス調整時

CLOCK表示部の外周部分でバランスを表示します。

(表示例：センター)

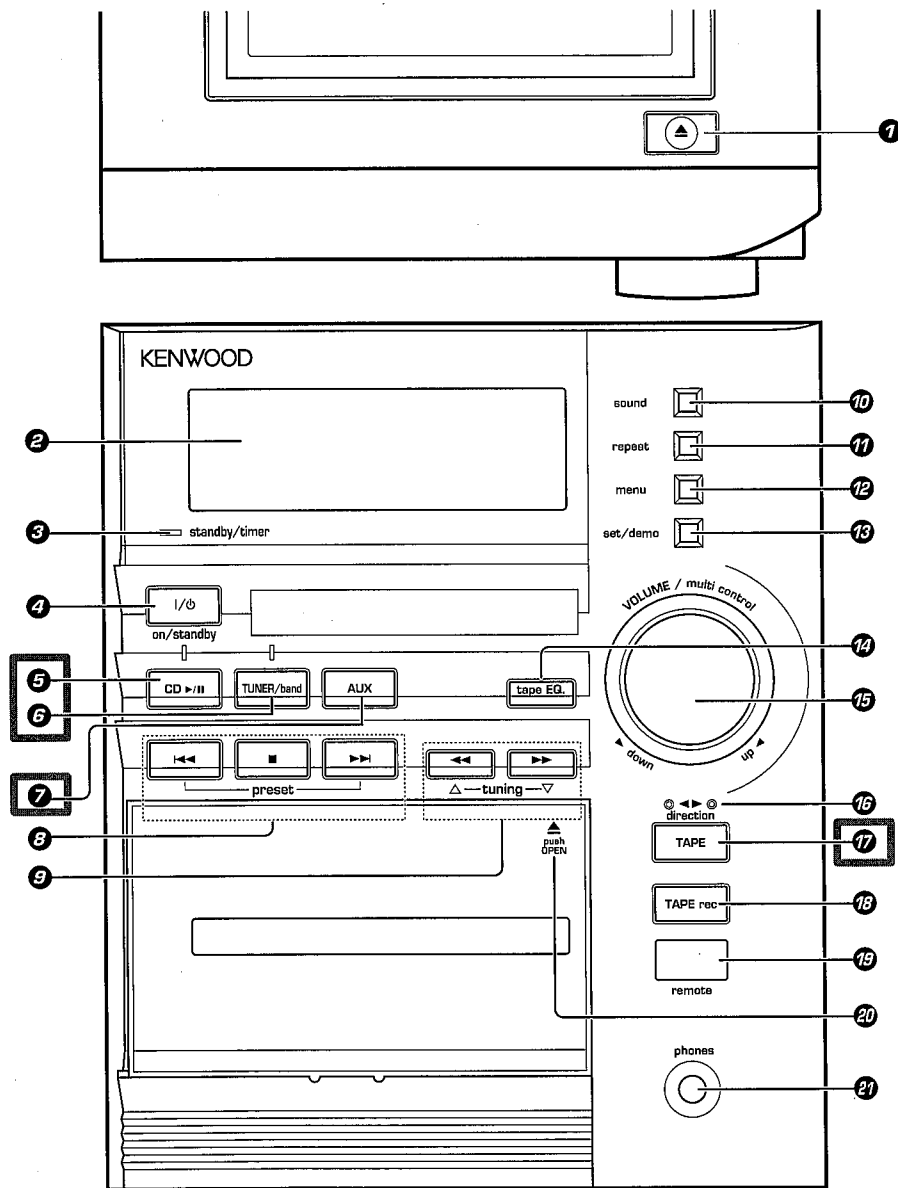


右の音が  
小さくなる

左の音が  
小さくなる



## 本体部



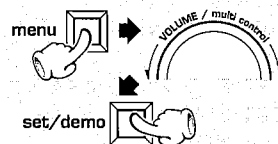
## ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。  
スタンバイ状態のとき、□内の各操作キーを押すと、すぐに再生(受信)します。

- ① CD 蓋オープンキー(▲)  
CDプレーヤーの上蓋を開きます。
- ② 表示部
- ③ "standby/timer"表示灯  
電源がスタンバイ状態になると点灯します。  
赤：通常のスタンバイ状態  
緑：O.T.T. 待機  
：プログラムタイマー待機
- ④ "on/standby"キー (I/O)  
電源のオン/スタンバイを切り換えます。
- ⑤ CD再生/一時停止キー (CD ▶/||)  
- 18  
CDプレーヤーに入力を切り換え、再生を開始します。  
CD再生中に押し続けると一時停止をします。
- ⑥ "TUNER/band"キー  
- 22  
チューナーに入力を切り換えます。  
放送バンドを切り換えます。
- ⑦ 外部入力キー (AUX)  
AUX (アナログ外部入力端子)に接続した入力ソースを聴くときに使います。
- ⑧ 曲の飛び越しキー (I◀▶II)  
- 19 - 22  
CDのとき：  
スキップ(曲の飛び越し)キーとして使います。  
チューナーのとき：  
記憶させた放送局を受信するとき使います。  
停止キー(■)
- ⑨ 早送り、早戻しキー(◀▶)/  
- 21 - 22  
"tuning" (△, ▽)キー  
CD, TAPEのとき：  
早送り、早戻しに使います。  
チューナーのとき：  
放送局の選択に使います。
- ⑩ "sound"キー  
EX. BASS再生、LOUDNESS再生を切り替えます。
- ⑪ "repeat"キー  
- 29  
CDの繰り返し再生のときに使います。
- ⑫ "menu"キー  
"VOLUME/multi control (up/down)"つまみの機能を切り換えます。  
時刻合わせをするときに使います。 - 37
- ⑬ "set/demo"キー  
"VOLUME/multi control"つまみで選択した項目の設定や確定などに使います。  
デモンストレーションのオン/オフに使います。
- ⑭ "tape EQ."キー  
- 21  
テープイコライザーのオン/オフを切り換えます。
- ※⑮ "VOLUME/multi control (up/down)"つまみ - 16  
通常は音量の調節に使います。
- ⑯ "direction"表示 (TAPE)  
- 20
- ⑰ テープ再生キー (TAPE)
- ⑱ テープ録音キー (TAPE rec)  
- 27  
録音を始めます。録音中に押し続けると、約4秒間の無音部分(空き)を作ってから一時停止をします。
- ⑲ リモコン受信部
- ⑳ カセットホルダー  
テープを出し入れするときは、"▲ push OPEN"のマークを押します。
- ㉑ "phones" 端子  
ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。

## ※ VOLUME/multi control (up/down) つまみについて

"menu"キーで機能を切り換え "VOLUME/multi control (up/down)"つまみを廻して項目を選びます。  
"set/demo"キーで各設定項目の設定や確定をします。

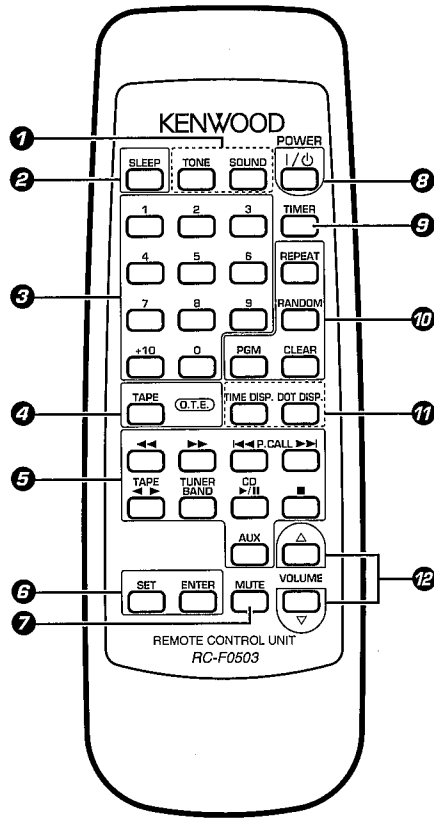


廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。	
TAPE RVS.	? - 21
O.T.E.	? - 33
ケンメイセッテイ	? - 24
(入力切替がチューナーの時のみ)	
AUX LEVEL	? - 36
(入力切替が外部入力の時のみ)	
BALANCE	? - 36
TIMER SET	? - 38
A.P.S. SET	? - 17

●5秒間操作しないと通常モードに戻ります。

## リモコン部

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



型名：RC-F0503  
赤外線方式

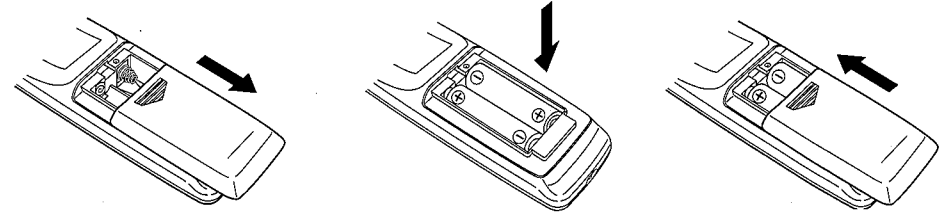
- ① **TONE** キー - 35  
音質の調整に使用します。
- SOUND** キー - 17  
EX. BASS再生、LOUDNESS再生を切り換えます。
- ② **SLEEP** キー - 41  
おやすみタイマーを設定するときに使用します。
- ③ **数字** キー  
CDの曲を選ぶときや、TUNERのプリセットコールキーとして使用します。
- ④ **TAPE O.T.E.** キー - 33  
CDをワンタッチでテープに録音できます。CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CDの全曲をテープへ録音します。

- ⑤ **基本操作** キー  
◀◀、▶▶キー(早送り、早戻し)  
CD、TAPEのとき： - 19 - 21  
早送り、早戻しに使用します。  
チューナーのとき： - 22  
放送局の選択に使用します。  
◀◀、▶▶キー(P.CALL / スキップ)  
CDのとき： - 19  
スキップ(曲の飛び越し)キーとして使用します。  
チューナーのとき： - 22  
記憶させた放送局を受信するときに使用します。
- TAPE** ◀ ▶ キー  
**TUNER BAND** キー  
CD ▶/II キー  
停止キー(■)  
**AUX** キー
- ⑥ **SET** キー  
"VOLUME/multi control"つまみで選択した項目の設定や確定などに使用します。  
**ENTER** キー - 23  
チューナーのプリセットメモリーの確定に使用します。
- ⑦ **MUTE** キー - 17  
一時的に音を消したいときに使用します。
- ⑧ **POWER (I/O)** キー - 16 - 41  
電源のオン/スタンバイを切り換えます。  
タイマーの実行/解除をするときに使用します。
- ⑨ **TIMER** キー - 41  
タイマーを選択するときに使用します。
- ⑩ **CD 関連** キー  
**REPEAT** キー - 29  
繰り返し再生するときに使用します。  
**RANDOM** キー - 30  
CDの曲順を順不同に再生します。  
**CLEAR** キー - 28  
プログラムした曲順を取り消します。  
**PGM** キー - 28  
曲順をプログラムするときに使用します。  
チューナーのとき： - 23  
"AUTO"(オート選局、ステレオ受信)とマニュアル(マニュアル選局、モノラル受信)の切り換えを行います。
- ⑪ **TIME DISP.** キー  
CDの再生時間などの表示を切り換えます。  
**DOT DISP.** キー - 31  
CD TEXT 対応ディスクの文字情報をスクロール表示するときに使用します。
- ⑫ **VOLUME (Δ, ▽)** キー

## リモコンの使いかた

### 電池の入れかた

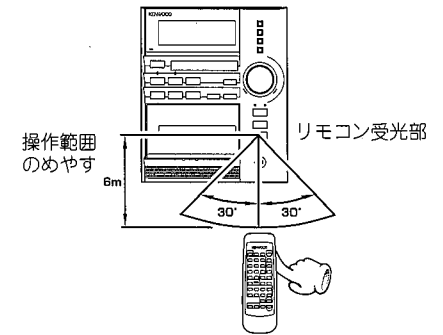
- ① カバーを開く      ② 電池を入れる      ③ カバーを閉める



- 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

### 操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER (I/O) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。電源をオフにするときは、再度POWER (I/O) キーを押します。"standby/timer"表示灯のみが点灯するスタンバイ状態になります。



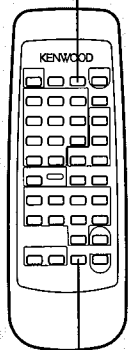
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。

- ④ 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
- ⑤ 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- ⑥ リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。



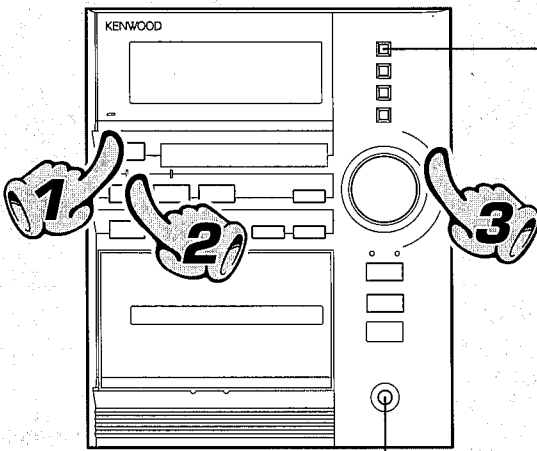
# 基本的な使いかた

低音と高音を補正する



一時的に音を消す

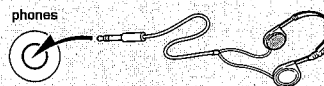
低音と高音を補正する



ヘッドホンで聴く

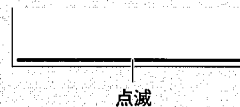
## ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグを"phones"<sup>ヘッドホン</sup>端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

## 一時的に音を消す (リモコンのみ)



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

## 低音と高音を補正する



または

押すたびに切り換わります。

- ① "EX. BASS" (エクストラバス) 点灯  
音量にかかわらず低高音域を補正
- ② "LOUD" (ラウドネス) 点灯  
音量に合わせて低高音域を補正  
(小音量時に有効です)
- ③ 消灯.....サウンドモード解除

- "LOUD"または"EX.BASS"表示が点灯中に音質の調整をすると表示は消灯し解除されます。 → 35

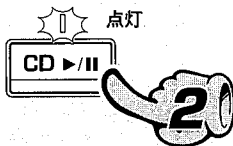
## 1. 電源をオンにする (オフにする)

電源がオンのときに"on/standby"<sup>オン</sup>キー (I/O) を押すとオフになり、"standby/timer"<sup>スタンバイ</sup>表示灯が点灯します。



- CD ▶/II, AUX, TAPE<sup>テープ</sup> キーまたは、"TUNER/band"<sup>バンド</sup> キーを押しても、電源がオンになり、再生 (受信) します。  
(ワンタッチオペレーション機能)
- CD, TAPEを選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

例: CDを選ぶ時

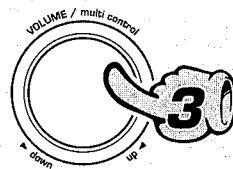


## 2. 聴きたいものを選ぶ

- TUNER (放送) → 22
- CD → 18
- TAPE → 20
- AUX (外部入力) → 10

- CD ▶/II, AUX, TAPE キーまたは、"TUNER/band" キーを押すと、その入力に切り換わりします。

## 3. 音量を調節する

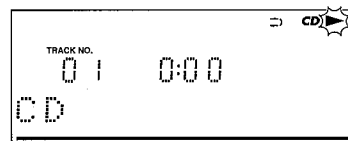


音量を下げる      音量を上げる

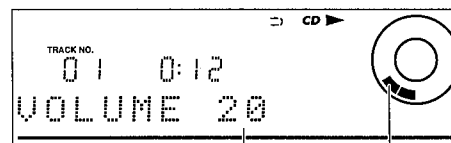
- 早く回すと、変化量が大きくなります。  
(AI ボリューム機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。  
(CLOCK表示部でも表示されます。)

## "standby"状態について

本機の"standby/timer"<sup>スタンバイ</sup>表示灯が点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行なわれています。これをスタンバイ状態といいます。このときは、リモコンで本機をオンできます。



CDを選んだとき

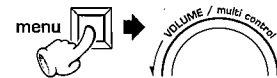


音量の表示

## AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンで、CD、TAPEのすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作で、オン/オフを選べます。

### ① "A.P.S. SET?"を選ぶ



("? マークが点滅中に"set/demo"キーを押す)

### ② 選択する

オートパワー  
セーブオフ

オートパワー  
セーブオン



### ③ 確定する

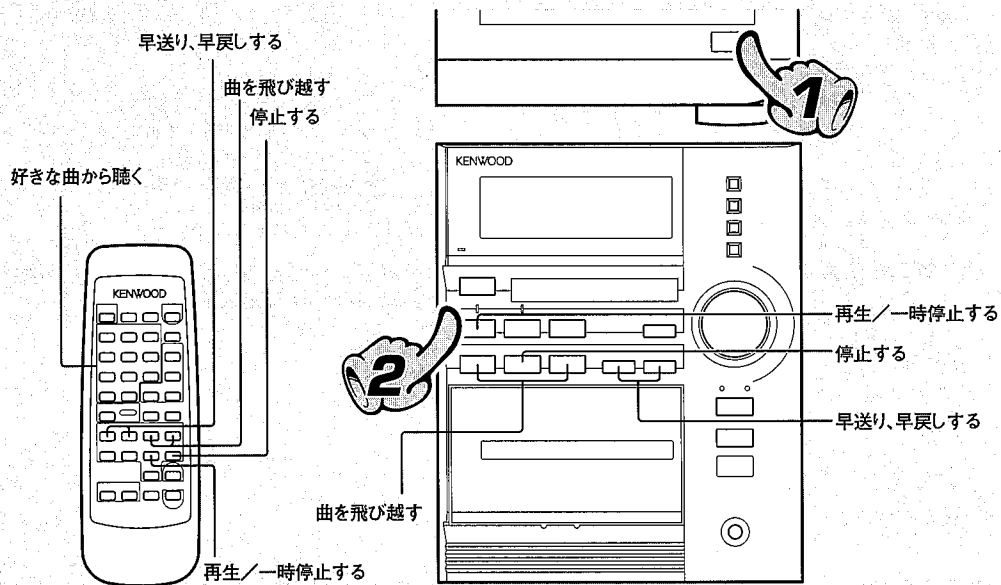


- 入力切替がTUNER, AUXのときは、音量がゼロまたはMUTEがオンのときに限り働きます。

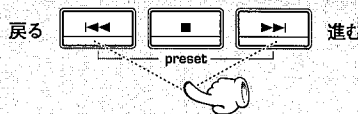
# CDを聴く



CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ▶/IIキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

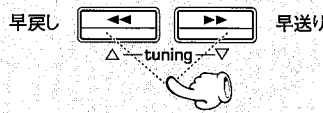


## 曲を飛び越す



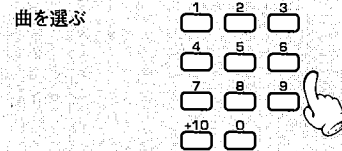
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの ◀◀、▶▶ キーでも操作できます。

## 早送り・早戻しする



- 手を離れたところから再生します。

## 好きな曲から聴く(リモコンのみ)



数字キーを押す順序は

23曲目なら ..... +10 +10 3  
40曲目なら ..... +10 +10 +10 +10 0

## 一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

## 再生を止める

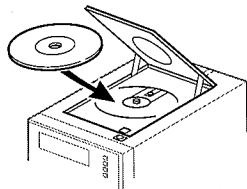


上蓋を開ける



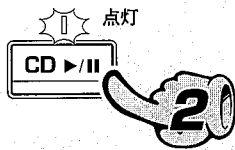
## 1. ディスクを入れる

ラベル面を上にする

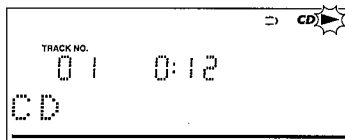


- ① 上蓋を開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ 上蓋を閉める

## 2. 再生をはじめ



- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。



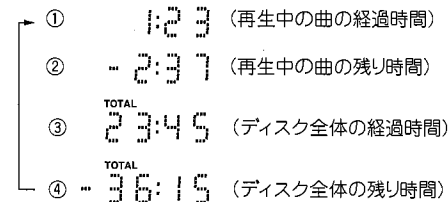
- CD-TEXT対応のディスクでは、タイトルが表示されます。
- 数秒後に1曲目から再生します。

## CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたテキスト情報(ディスクまたは曲のタイトル)が自動的に表示されます。

## CDプレーヤーの時間表示について(リモコンのみ)

TIME DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。



- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。

### ディスク取扱上のご注意

ディスクにゼロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなかったり、故障する原因となることがあります。

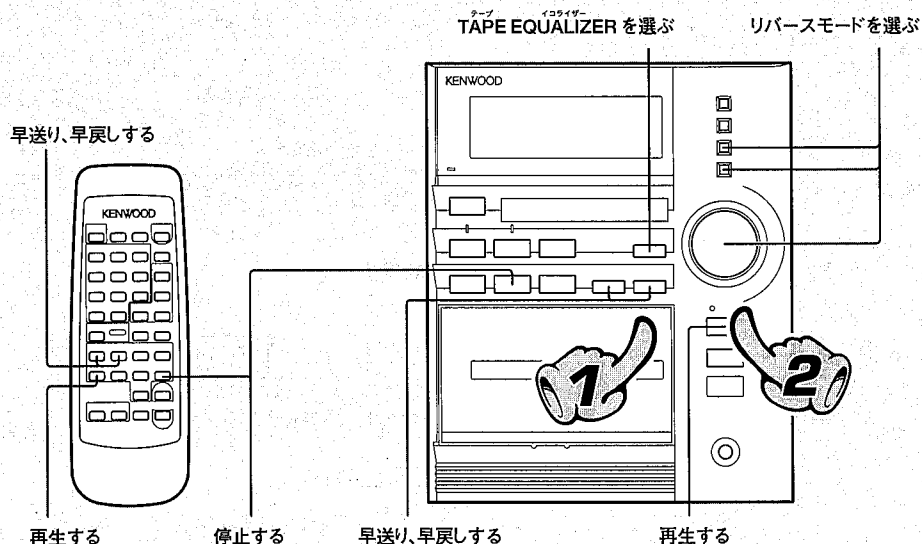
### 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

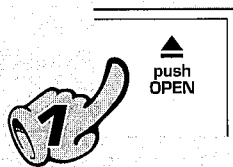
# テープを聴く



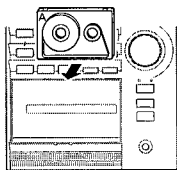
カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPESキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



## 1. カセットテープを入れる



- ① ドアを開ける
- ② テープを入れ、ドアを閉める



## 2. 再生する

走行方向表示



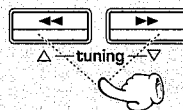
再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。

### 走行方向について

ワンタッチオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするとき、テープが進む方向を、インジケータの点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。  
(向きを変えるときは、再生中に、TAPESキー (◀、▶) を押してから停止キー (■) を押します。)

## 早送り・早戻しする

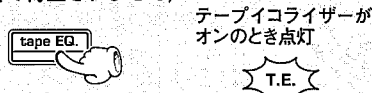
◀方向に早送りする ▶方向に早戻しする



- 早送りを止めるときは、停止キー (■) を押してください。

## TAPES EQUALIZER を選ぶ (本体のみ)

ドルビー録音されたテープを聴くときのみに使います。(ドルビー録音をしていないテープでは、正常な音で再生されません)



押すたびに切り換わります。

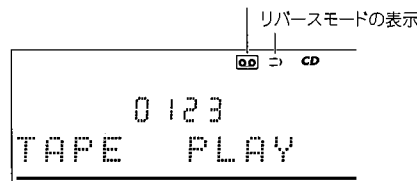
- ① "T.E." 点灯 ..... テープイコライザーを使う
- ② "T.E." 消灯 ..... テープイコライザーを使わない

- 高音域のノイズの低減に有効です。

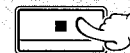


- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態にしてください。
- ドアは確実に開めてください。

デッキにテープが入っているときに表示されます。



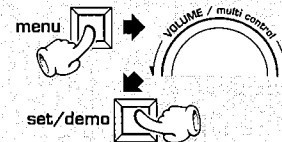
## 再生を止める



- テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

## リバースモードを選ぶ(本体のみ)

- ① "TAPES RVS. ?" を選ぶ。



("?" マークが点滅中に "set/demo" キーを押す)

- ② 選択する。

初期設定

"◀": (REVERSE) 両面を再生(録音)して止まる

"◀": (ONE-WAY) 片面のみを再生(録音)して止まる



"▶": (ENDLESS) 両面をエンドレス再生する

- ③ 確定する。



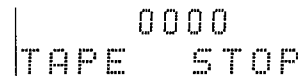
## テープのカウンター表示について(リモコンのみ)

TIME DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 0000 (テープカウンター)
- ② AM 8:45 (時刻表示)

## テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが "0000" と表示されます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が ◀ のとき)はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを "0000" にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。

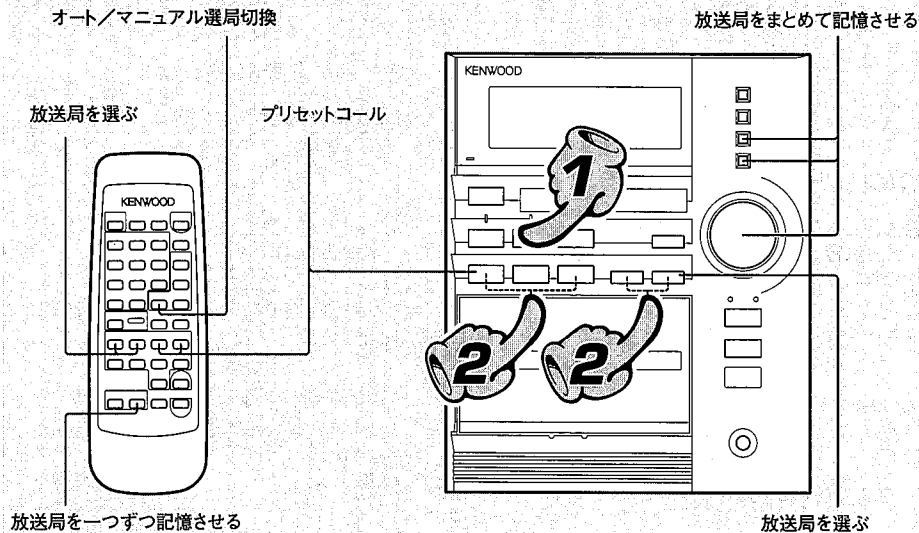


# 放送を聴く

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。



"TUNER/band"キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。



## 1. 放送バンドを選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

## 2. 放送局を選ぶ

放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき：  
押すたびに次の放送局を自動的に受信します。  
マニュアル選局のとき：  
受信するまで繰り返し押す。または、押したままにする。

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

キー(◀▶)を押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

▶▶を押すと... 1 → 2 → 3 ..... 38 → 39 → 40 → 1 .....

◀◀を押すと... 40 → 39 → 38 ..... 3 → 2 → 1 → 40.....



# 放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット) (リモコンのみ)

お好みの放送局だけを選んで1局ずつプリセットすることが出来ます。

① 受信中にENTERキーを押す



("MEMORY"表示中に、手順②へ)

② 1~40の"プリセットナンバー"を選ぶ



③ もう一度、ENTERキーを押す



(続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順①, ②, ③を繰り返す)



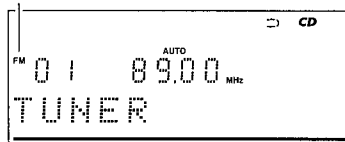
"MEMORY"表示(約5秒間)

●最大40局まで放送局を記憶できます。

●同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。



放送バンドの表示



## 選局方法の切り換えと再生モードについて (リモコンのみ)

押すたびに切り換わります。



- ① "AUTO" 点灯 (オート選局、ステレオ受信)
- ② "AUTO" 消灯 (マニュアル選局、モノラル受信)

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

●通常はAUTO(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

## チューナーの周波数表示について(リモコンのみ)

TIME DISP.キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① FM 01 76.10 MHz (周波数表示)
- ② AM 8:45 (時刻表示)

## テレビ放送(1ch~3ch)の受信について

周波数を次のように合わせます。

- 1chのとき.....95.75MHz
- 2chのとき.....101.75MHz
- 3chのとき.....107.75MHz

●テレビ放送はモノラル受信になります。



### 放送局をオートプリセットする(エリア別FM放送局名自動表示)

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を(FM放送のみ)表示することが出来ます。

(放送局名リスト→25)

**① 入力切換をTUNERにする**

**② "ケンメイセッテイ?"を選ぶ**

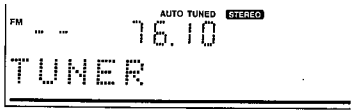
( "?"マークが点滅中に"set/demo"キーを押す)

**③ お住まいの都道府県名を選択する**

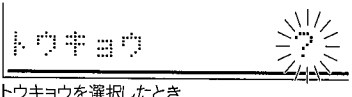
(5秒以内に手順④へ)

**④ オートプリセットを始める**

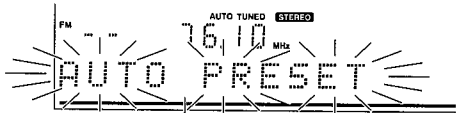
🎵 オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っている放送局のみに対応しています。



- 現在設定されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"ケンメイミセッテイ?"と表示されます。

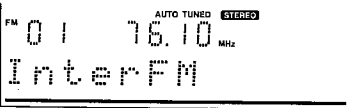


- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。



オートプリセット中はドット表示部に" AUTO PRESET"が点滅しています。

- オートプリセットをおこなうと、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局が良好に受信できない場合もあります。
- オートプリセットが終了と、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。(受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合は、"TUNER"とプリセットチャンネルを表示します。)



#### 希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によって、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、"set/demo"キーを押すと放送局名を変えることができます。



- 希望する放送局名が放送局名リストにない場合は、"set/demo"キーを押しても、表示は変化しません。

### 放送局名リスト

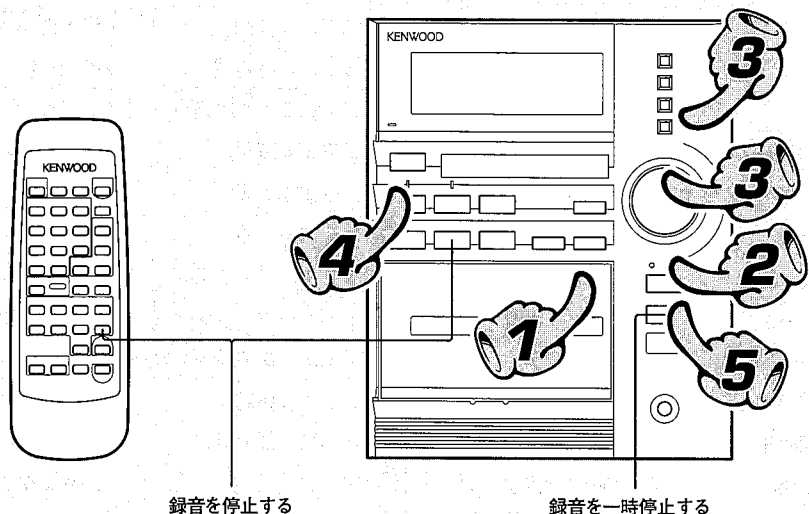
1998年7月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK-FM	NHK-FM
	エフエム北海道 エフエム・ノースウェーブ	AIR-G' north wave
北海道地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co-much FM
	エフエム山形 エフエム福島	FMヤマガタ フクシマFM
東北地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J-WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ハウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
関東地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川 福井エフエム放送	FMイシカワ FMフクイ

	放送局	表示名
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP-FM
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E-Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまると 関西インターメディア	FM802 FM CO・CO・LO
中国・四国地方	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss-FM
	エフエム山陰	V-air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY-FM
	エフエム鹿児島	ミュ- FM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送 FEN オキナワ	NHKラジオ1 FEN オキナワ
九州国際エフエム	Love FM	

# テープに録音する

SE-5X (J)  
 本機はメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。



録音を停止する

録音を一時停止する

## 録音を一時停止する



- 録音中に再度、「TAPE rec」キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)

## 録音を停止する



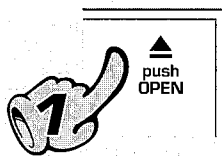
## CDから録音するときのポイント

CDを録音するときには、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておく、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

- 1 再生するCDを一時停止にする
- 2 録音したい曲をスキップキー(◀▶)で選ぶ(選んだ曲の初めで一時停止になります。)
- 3 カセットデッキを録音ポーズ状態にする(「TAPE rec」キーを2回押す。)
- 4 CDの再生を始める(シンクロ録音が始まります。)

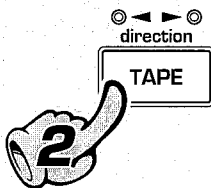
- CDプレイヤーの停止キー(■)を押すと、録音を中止します。

## 1. 録音の準備をする



- 1 ドアを開ける
  - 2 テープを入れる
  - 3 ドアを閉める
- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種別は、自動設定されます。
  - テープは、たるみのない状態で入れてください。

## 2. テープの進む向きを選ぶ



### 走行方向を逆にしたい場合

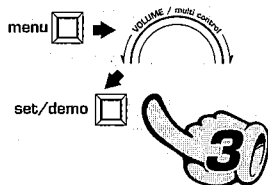
- 1 再生する
- 2 もう一度キーを押す
- 3 停止する

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

走行方向表示を確認する - 20

## 3. 録音条件を決める

リバースモードを選ぶ - 21



- 録音時は、テープイコライザーは使えません。

## TAPE以外を選ぶ

例: CDを選ぶ時



## 4. 何を録音するか選ぶ

TUNER(放送)  
 CD  
 AUX



文字情報表示部に録音する入カソースが表示されます

- すでにCDが入っているときは、再生が始まりますので ■ キーを押して止めます。



## 5. 録音をはじめる

- 1 録音したい入カソースを再生(受信)する
- 2 録音を始める

- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

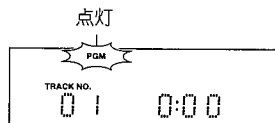


# 曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

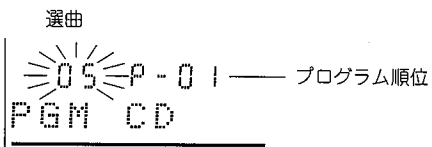
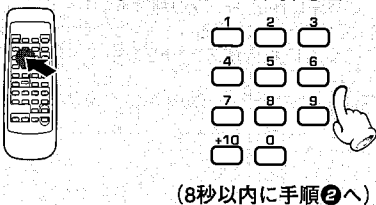
入力切換を"CD"にする

## 1 "PGM"表示を点灯させる



## 2 聴きたい順に曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ



数字キーを押す順序は

23曲目なら **+10 +10 3**  
40曲目なら **+10 +10 +10 +10 0**

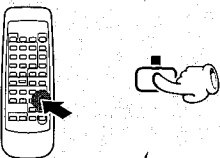
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEAR キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"--:--"になります。

- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを一回押すと、その曲の最初に戻ります。

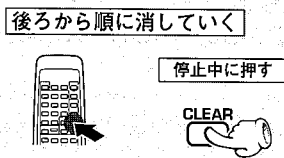
## 3 再生する



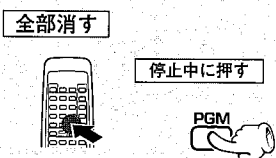
再生を停止する



プログラムした曲を取り消すには



● 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。



● プログラムの内容が、全部消えます。

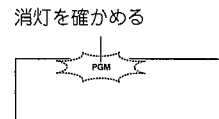
# 繰り返し聴く (リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

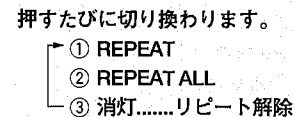
入力切換を"CD"にする

## 一曲を繰り返し聴く時の設定

① "PGM"表示の消灯を確認する  
("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)

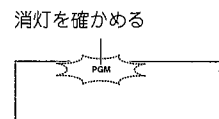


② "REPEAT"を選ぶ

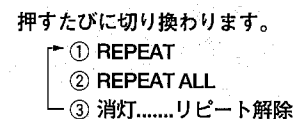


## 全曲を繰り返し聴く時の設定

① "PGM"表示の消灯を確認する  
("PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)

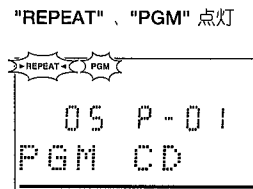


② "REPEAT ALL"を選ぶ



## 選んだ曲だけを繰り返し聴く時の設定

① 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする



② "REPEAT"を選ぶ



再生する



● 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを解除になるまで押します。

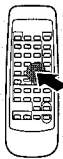
● "REPEAT"、"REPEAT ALL"表示が消灯し、CDプレイヤーのモードに従った再生に戻ります。

# ランダム再生を楽しむ

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

## 入力切換を"CD"にする

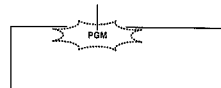
### 1 "PGM"表示の消灯を確かめる



(“PGM”表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。)



消灯を確かめる

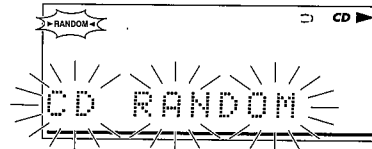


### 2 RANDOMキーを押す



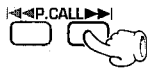
押すたびに切り換わります。

- ① "RANDOM"点灯 ..... ランダム再生する
- ② "RANDOM"消灯 ..... 通常の再生



- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

## 曲の途中で別の曲を選ぶには



- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

## ランダム再生をやめるには



"RANDOM"表示を消灯させる



- "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

## ドット ディスプレイ DOT DISP. キーについて

CD TEXT 対応ディスクのタイトルが、ドット表示部に表示しきれない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認できます。



(停止中に操作します)

ディスクタイトルをスクロール表示

World Music

(再生中に操作します)

トラックタイトルをスクロール表示

New York: Bi

## 録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください



本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

### CDの録音を簡単にしたい時は

#### ワンタッチ録音 (CD→TAPE)

→ 33

##### ワンタッチ録音(全曲録音)

CDの全曲を、テープにワンタッチ録音ができます。

##### ワンタッチ録音(一曲録音)

その時に聴いているCDの曲だけを、テープにワンタッチ録音ができます。  
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

### 曲を選び曲順を並びかえて録音をしたい時は

#### プログラム録音 (CD→TAPE)

→ 34

##### プログラム録音

プログラムした曲順で録音します。  
(CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。)  
"ワンタッチ録音"と組み合わせての録音もできます。



テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのぶんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

## ワンタッチ録音 (CD→TAPE)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(一曲録音)

カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。

### 1 録音の準備をする

#### CD→TAPEのとき

① "テープに録音する"の手順1.~3.までを行なう

→ 26

② CDにディスクを入れる

### 2 CDの再生状態を確認する

#### ワンタッチ(全曲録音)

再生中の時は停止させる



#### ワンタッチ(一曲録音)

好きな曲を選びCDを再生する



"ワンタッチ録音(一曲録音)"を使用して他の曲を録音するには、手順 ②、③ を繰り返します。

### 3 録音を始める

#### リモコン

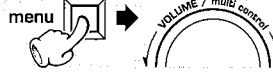
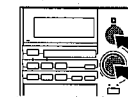
① TAPE O.T.E. キーを押す



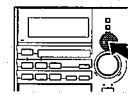
● "ワンタッチ(一曲録音)"をした時は、  
"set/demo"キーまたは、TAPE O.T.E. キーを押すと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

#### 本体

① "O.T.E. ?"を選ぶ



② 録音を始める



### 録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

### 録音が終了すると.....

カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

# プログラム録音 (CD→TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

録音の準備が必要です- [26] (カセットデッキは、必ず停止状態にしてください。)

## 1 CDの曲順をプログラムします

### CD→TAPEのとき

CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~④を行う。 → [28]

- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

## 2 録音を開始する



- プログラムした曲順に録音を開始します。
- 本体で操作する場合は"ワンタッチ録音 (CD→TAPE)"の手順④を参照してください。

→ [33]

## 録音を途中でやめるには



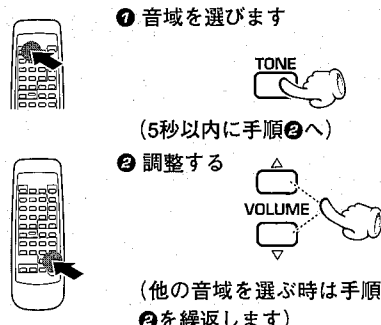
(録音、再生ともに停止します。)

**録音が終了すると.....**  
 カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

# 音質の調整

## 音質の調整

低音域と高音域の調整をします。(リモコンでのみ操作可能)



押すたびに切り換わります。

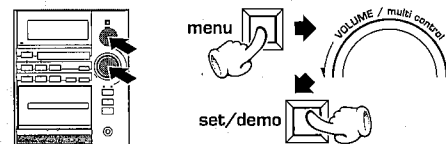


- "BASS"、"TREBLE"とも2ステップ毎に、-8~+8の範囲で調整できます。
- "LOUD"または"EX.BASS"表示が点灯中にトーンコントロールをすると表示は消灯し解除されます。

## バランスの調整

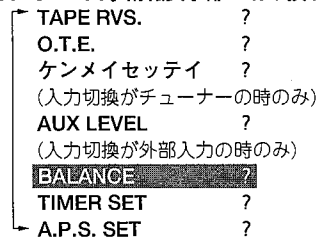
左右の音量バランスを調整します。(本体でのみ操作可能)

## 1 "BALANCE ?"を選ぶ

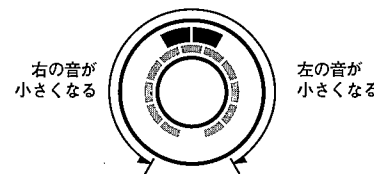
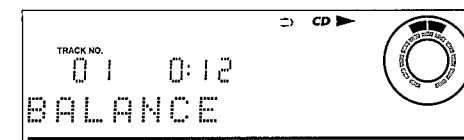
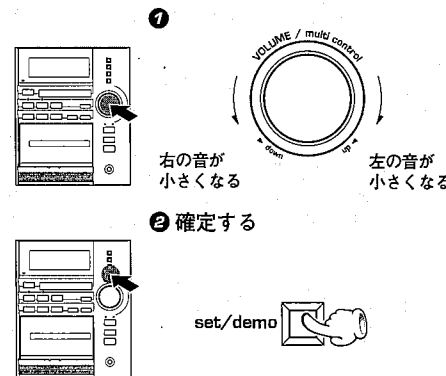


("?"マークが点滅中に"set/demo"キーを押す)

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。



## 2 調整する



- CLOCK表示部の外周部でバランスを表示します。
- "VOLUME/multi control (up/down)"つまみでの調整量に合わせて、表示が変化します。

## AUXインプットレベルの調整

AUX入力端子に接続された外部機器(ビデオデッキ等)からの入力レベルを調整します。CD等と同じくらいの大ききで聞こえるように、調整してください。(本体でのみ操作可能)

### 1 AUX (外部入力)を選ぶ

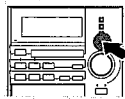
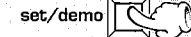
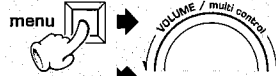
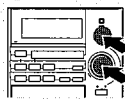


① AUX (外部入力)を選ぶ



② 接続した機器を再生してみる

### 2 "AUX LEVEL?"を選ぶ



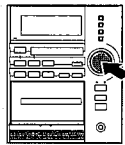
( "?" マークが点滅中に "set/demo" キーを押す )

廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?
O.T.E.	?
ケンメイセッテイ	?
(入力切換がチューナーの時のみ)	
<b>AUX LEVEL</b>	
(入力切換が外部入力の時のみ)	
BALANCE	?
TIMER SET	?
A.P.S. SET	?

### 3 調整する

① インプットレベルを調整する



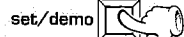
レベルが小さくなる



レベルが大きくなる



② 確定する



INPUT +2

設定レベル (約 5 秒間表示)

- インプットレベルを調整するときは、"INPUT"の表示中におこないます。
- -6~+3の範囲で調整ができます。

## 時刻合わせ

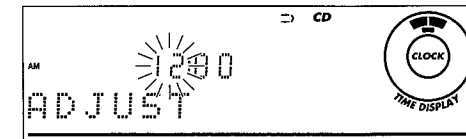
### 1 時刻合わせモードにする



(2秒以上押す)



- 設定時は、CLOCK表示部が点滅を始めます。

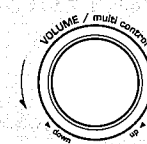


- 時間表示が点滅を始めます。

### 2 時間を合わせる



①

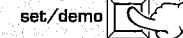


時間が戻る

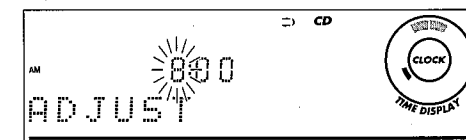
時間が進む



② 確定する



8時7分に合わせる例

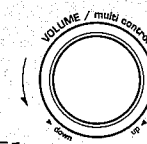


- 時刻は12時間表示で表示されます。
- "set/demo" キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

### 3 分を合わせる



①

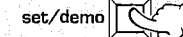


分が戻る

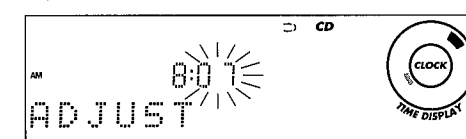
分が進む



② 確定する



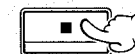
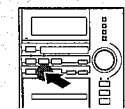
8時7分に合わせる例



- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時に "set/demo" キーを押すと正確な時刻合わせができます。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- "set/demo" キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE!" と表示します。

### 時刻表示をさせるには

(スタンバイ状態のとき)



5秒間表示

- 時刻合わせが済むと ":" (コロン) が点滅します。
- 電源がオンのとき、AUXキーを押すと時刻を表示します。

## オペレート イージー トゥー ユーズタイマー (Operate easy To use Timer: O.T.T.):

指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフになります。設定直後の1回だけ働きます。

### タイマー再生、タイマー録音 (PROG.1, PROG.2):

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

### AI タイマー再生 (PROG.1, PROG.2):

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなります。

### おやすみタイマー (SLEEP):

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

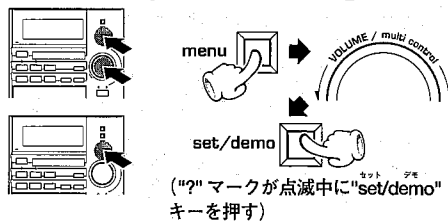
"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。

## O.T.T.を設定する

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー再生ができます。電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフになります。

① 聴きたいソースを選び、音量を設定する

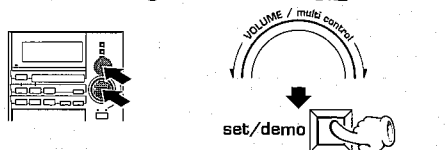
② "TIMER SET ?"を選ぶ



廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

- TAPE RVS. ?
- O.T.E. ?
- ケンメイセッテイ ?  
(入力切替がチューナーの時のみ)
- AUX LEVEL ?  
(入力切替が外部入力の時のみ)
- BALANCE ?
- TIMER SET ?**
- A.P.S. SET ?

③ "O.T.T. SET ?"を選ぶ



廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

- ① **O.T.T. SET ?**
- ② PROG. 1 SET ?
- ③ PROG. 2 SET ?

④ オン時刻をセットする

時刻が戻る 時刻が進む



- オン時刻は、5分単位で設定できます。
- "set / demo" キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE!" と表示します。

⑤ 確定する



## O.T.T. を実行するには

"O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除"の、手順①と②を行います。

## プログラムタイマーを設定する

2系統(プログラム1, PROG.2)の24時間タイマー(毎日働きます)です。

PROG.1, PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

### 1 聴く(録音する)ための準備をする

CDを聴く

ディスクを入れる  
(プログラム再生はできません。)

テープを聴く

テープをセットする。  
(プログラム再生はできません。)

放送局を聴く

放送局をプリセットしておく。  
- 23

外部入力ソースを聴く

AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする。

録音する

録音の準備をする。  
TAPE - 26

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2種類を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

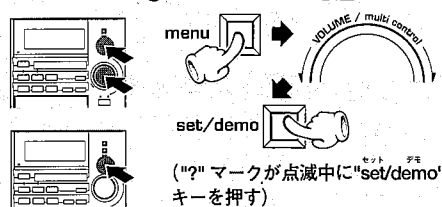
### 2 音量を調節する



- タイマーで録音するとき、タイマーがオンになると、自動的にMUTEがオンになります。

### 3 プログラム番号を選ぶ

① "TIMER SET ?"を選ぶ



廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

- TAPE RVS. ?
- O.T.E. ?
- ケンメイセッテイ ?  
(入力切替がチューナーの時のみ)
- AUX LEVEL ?  
(入力切替が外部入力の時のみ)
- BALANCE ?
- TIMER SET ?**
- A.P.S. SET ?

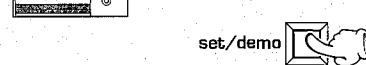
② "PROG. 1 SET ?"または "PROG. 2 SET ?"を選ぶ



廻すたびに文字情報表示部が切り換わります。

- ① O.T.T. SET ?
- ② **PROG. 1 SET ?**
- ③ **PROG. 2 SET ?**

③ 確定する

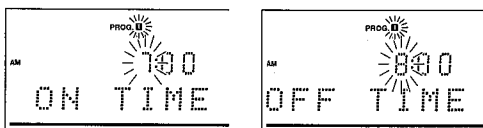
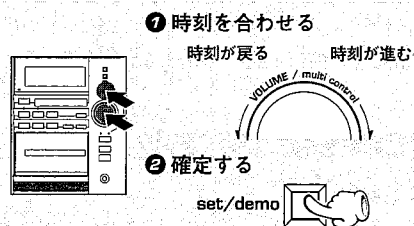


(プログラム内容の表示中に押す)

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
- 前の設定内容を表示します。(変更しない場合は、そのまま"set/demo"キーを押してください)



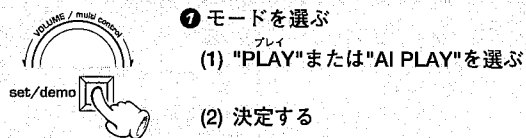
### 4 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する



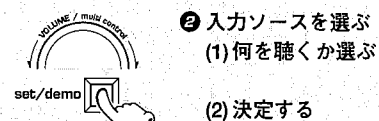
- オン時刻とオフ時刻ともに①、②の手順を行ない"時間"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは手順②からやり直してください

### 5 希望の予約を設定する

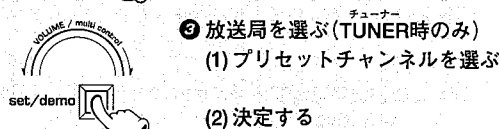
タイマー再生、AIタイマー再生をするとき



- ① **PLAY** ..... タイマー再生
- ② **REC** .....
- ③ **AI PLAY** ..... だんだん音が大きくなる  
タイマー再生

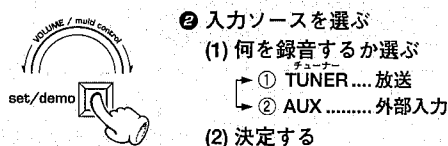
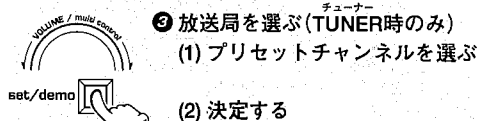
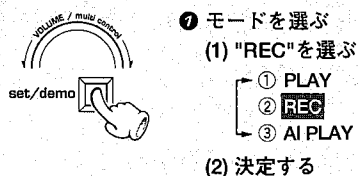


- ① **TUNER** ..... 放送
- ② **CD** .....
- ③ **TAPE** .....
- ④ **AUX** ..... 外部入力(テープなど)



- "set/demo" キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE!"と表示します。

タイマー録音をするとき



- "set/demo" キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE!"と表示します。

### プログラムタイマーを実行するには

"O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除"の、手順①と②を行います。

## O.T.T.とプログラムタイマーの実行と解除

### 1 働かせたいプログラム番号をセットする(リモコンのみ)



押すたびに切り換わります。

- ① O.T.T. .... O.T.T.のみ実行
- ② PROG.1 ..... プログラム1のみ実行
- ③ PROG.2 ..... プログラム2のみ実行
- ④ PROG.1, 2 ..... プログラム1と2の両方を実行
- ⑤ 表示消灯 ..... タイマー オフ

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないとタイマーは動きません。

### 2 スタンバイ状態にする

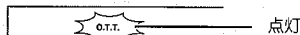


- スタンバイ状態になると"standby/timer"表示灯が緑に点灯します。

### 再び同じ内容のタイマーをセットする

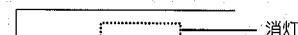
セットしたいプログラム表示を点灯させる

電源がオンの時に押す



- ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。

電源がオンの時に押す



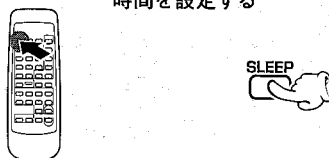
- 予約内容は記憶しています。

予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

## おやすみタイマー(SLEEP)

何分後に電源を切るかを設定します

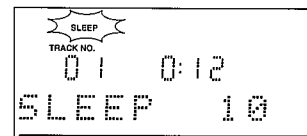
時間を設定する



- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 一回押すごとに10分ずつ増えていきます。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

点灯



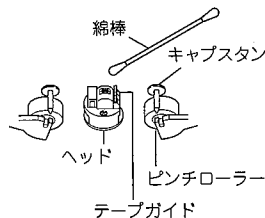
### 解除するには

電源をオフにする、またはSLEEPキーを解除になるまで押す

セットする時間

メンテナンス

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。

クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

1. CDを取り出します。
2. CDの▶/⏏ キーを押す。
- 3.しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

4. 数秒間待って、電源をオフにします。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容

時計表示	アンプ部 電源の状態 (オンまたはスタンバイ) ラストインプットセレクタ ボリューム値 トーンコントロール値 AUXインプット値 バランスの設定
	チューナー部 受信バンド 周波数 プリセット放送局 AUTO、MONOの設定 プログラムタイマーの設定
	内容
	カセットデッキ部 テープ走行方向 テープイコライザー リバースモード

ステレオ音のエチケット

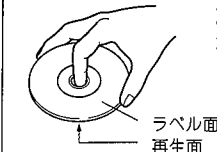


楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

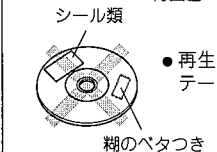
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ディスクの取り扱い方

ディスク取扱上のご注意



取り扱い  
再生面にふれないように持って  
ください。



- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

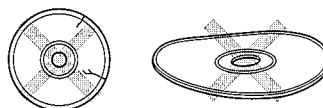
保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

異常なディスクは使用しない



再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

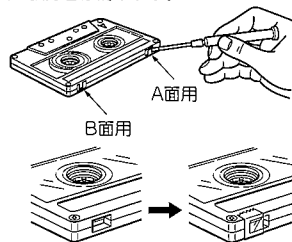
本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクラベル面にの CD MARK が入ったものなど IEC規格に合格したものをご使用ください。

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。

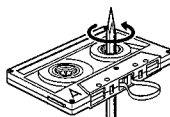
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.110分以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会  
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
東京オペラシティタワー11F  
電話 (03) 5353-0336  
FAX. (03) 5353-0337

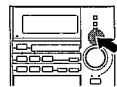
調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、"set/demo"キーを押しながら、差し込み直す。



set/demo



アンプ部・スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●音量を最小にしている。</li> <li>●MUTEがオンになっている。</li> <li>●ヘッドホンプラグが差込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。</li> <li>●適当な音量にする。</li> <li>●MUTEをオフにする。</li> <li>●ヘッドホンプラグを抜く。</li> </ul>	<p>→ 8</p> <p>→ 17</p>
"standby/timer"の表示が点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがショートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。</li> </ul>	
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●差し込みが不完全。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しく差し込む。</li> </ul>	→ 17
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●バランスの設定が片寄っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。</li> <li>●左右のバランスを調節する。</li> </ul>	<p>→ 8</p> <p>→ 36</p>

チューナー部

症状	原因	処置	参照
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停電があった。</li> <li>●電源プラグを一度抜いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。</li> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。</li> </ul>	→ 37
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻を合わせていない。停電があった。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。</li> <li>●タイマーの実行指定をしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。</li> <li>●リモコンのTIMERキーで実行指定する。</li> </ul>	→ 40
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続していない。</li> <li>●放送バンドが合っていない。</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続する。</li> <li>●放送バンドを合わせる。</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合わせる。</li> </ul>	<p>→ 8</p> <p>→ 22</p>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車のイグニッションノイズ。</li> <li>●電気器具の影響によるもの。</li> <li>●テレビが近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部アンテナを道路から離して設置する。</li> <li>●電気器具の電源を切ってみる。</li> <li>●テレビから離す。</li> </ul>	
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。</li> <li>●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信できる周波数の放送局をプリセットする。</li> <li>●もう一度プリセットする。</li> </ul>	→ 23

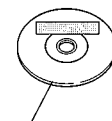
CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>●ディスクがずれている。</li> <li>●ディスクがひどく汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> <li>●光学レンズに露がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> <li>●ディスクを正しく入れ直す。</li> <li>●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> <li>●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。</li> </ul>	<p>→ 43</p> <p>→ 42</p>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが入っていない。</li> <li>●再生状態になっていない。</li> <li>●ディスクがひどく汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクを入れる。</li> <li>●再生(▶/  )キーを押す。</li> <li>●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> </ul>	→ 43
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> <li>●本機に震動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> <li>●震動のない場所に設置する。</li> </ul>	→ 43

リモコン部

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池切れ。</li> <li>●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。</li> <li>●再生しようとする機器に、CD、またはカセットテープが入っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい電池に入れ換える。</li> <li>●操作範囲内で操作する。</li> <li>●再生しようとする機器にCD、またはカセットテープを入れる。</li> </ul>	<p>→ 16</p> <p>→ 19</p>

レンタルCD,中古CDの取り扱いについて



クランピングエリア

- 図のようなクランピングエリアにシールが貼られている様なディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
- シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のべたつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

## カセットデッキ部

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドが汚れている。</li> <li>●巻き取りムラがありテープが重くなっている。</li> <li>●未録音テープを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。</li> <li>●テープを交換してみる。</li> <li>●録音済みテープを使う。</li> </ul>	- 42
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットホルダーが完全に閉まっていない。</li> <li>●カセットホルダーを開けて、すぐ操作キーを押している。</li> <li>●電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。</li> <li>●テープが入っていない。</li> <li>●巻き取りムラがありテープが重くなっている。</li> <li>●テープがどちらかに巻き取られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホルダーを完全に開める。</li> <li>●ホルダーを開けてから何秒か待って操作キーを押す。</li> <li>●4秒以上たってから操作キーを押す。</li> <li>●テープを入れる。</li> <li>●テープを交換してみる。</li> <li>●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。</li> </ul>	- 20 - 20 - 20
<small>プッシュ オープン</small> ▲ push OPEN のマークを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音中、または再生中に押している。</li> <li>●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停止状態で押す。</li> <li>●マイコンをリセットしてください。</li> </ul>	- 44
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドが汚れている。</li> <li>●テープがのびたり、ワカメ状になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。</li> <li>●テープを交換する。</li> </ul>	- 42
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時)</li> <li>●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●AUXインプットレベルを調節する。</li> <li>●テープを交換する。</li> </ul>	
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドが磁気を帯びている。</li> <li>●外部の雑音を誘導している。</li> <li>●ドルビー録音されたテープを、テープイコライザーをオフで再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。</li> <li>●電気器具、テレビなどから離す。</li> <li>●テープイコライザーをオンにする。</li> </ul>	- 42 - 21
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。</li> <li>●テープに巻き取りムラがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。</li> <li>●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。</li> </ul>	- 42 - 21
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットテープのツメが折れている。</li> <li>●カセットホルダーが完全に閉まっていない。</li> <li>●入力切換が、TAPEになっている。</li> <li>●テープがどちらかに巻き取られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。</li> <li>●ホルダーを完全に開める。</li> <li>●入力切換を録音したいソースにする。</li> <li>●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。</li> </ul>	- 43 - 20 - 27 - 20

## 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の"ケンウッドサービス網"をご覧ください。)

## 修理をご依頼になるときは

"故障かな?と思ったら"に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

## 出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

## 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

## 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ( )